

自治体の課題、現状

地域移行の取組の現状

県教育委員会では、部活動の地域移行に向け、令和5年4月に「青森県公立中学校における休日の部活動の地域移行推進計画」、令和6年3月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の指針」を策定している。

地域移行を進める上での課題

持続可能な活動環境の整備や教職員の負担軽減のため、学校単位から地域単位への運営移行が求められるが、地域ごとに課題があり、指導者や受け皿団体の確保が難しい状況となっている。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	222人
域内の部活動数	3部 ※文化部活動	実施した地域クラブ数	県立中学校としては実績なし
全体の指導者数		全体の運営スタッフ数	
主な運営団体			
主な種目			
平均的な活動回数		年間平均参加生徒実数	
参加会費		主な活動場所	

地域移行関連の取組、成果

むつ市への実証事業委託

- ・国の実証事業を活用した吹奏楽部の地域文化クラブへの移行

部活動の在り方に関する研修会

- ・県教育委員会が策定した指針の周知と指導者の資質向上

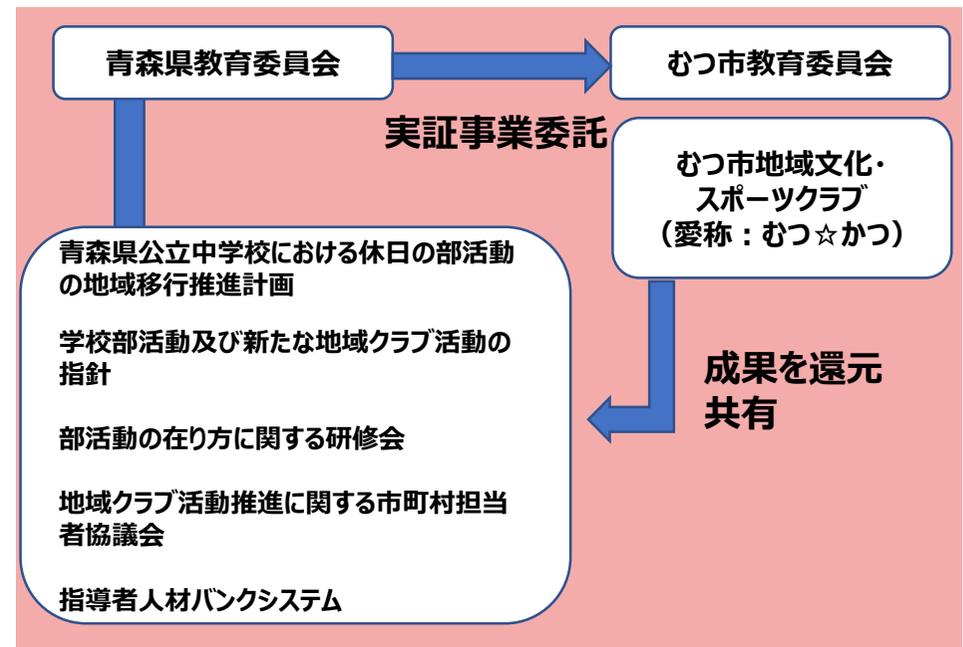
地域クラブ活動推進に関する市町村担当者協議会

- ・国の動向、実証事業を実施した取組事例の共有、現状・課題の協議

指導者人材バンクシステムの文化系種目の追加改修

- ・市町村の希望に応じた指導者の募集、マッチングの体制構築

運営体制図



自治体の課題、現状

本市には9校の公立中学校があり、生徒数1,223人で、令和6年度をもって全ての文化庁活動が地域移行を完了しているが、地域移行以前に吹奏楽部以外の文化庁活動が存在したのは3校のみと、生徒が文化活動に接する機会が限られていたという現状である。

中学校部活動の地域移行の受け皿として、地域格差が発生しないよう市内全生徒に公平な活動機会を提供するため、指導者の質・量の確保、活動場所の確保、生徒の移手段の確保、持続可能な体制の整備等、活動環境を整備していく必要がある。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	9校	全生徒数	1,223人
域内の部活動数	0部	実施した地域クラブ数	10クラブ
全体の指導者数	147人	全体の運営スタッフ数	24人
主な運営団体	むつ市地域文化・スポーツクラブ		
主な種目	IT、学習、歌唱、家庭、ダンス、美術、ボードゲーム、野外活動体験、総合文化、吹奏楽		
平均的な活動回数	17回/月	年間平均参加生徒実数(吹奏楽のみ)	3年：08人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：04人/クラブ
参加会費	12,000円/年	主な活動場所	下北文化会館

地域移行関連の取組、成果

- ・活動場所を下北文化会館に集約することで、限られた指導者数においても、これまでの学校部活動には無かったクラブの運営を展開することができた。
- ・各学校から活動場所を繋ぐバスを運行することで、市内の全生徒が等しく活動機会を得ることができるようになった。
- ・指導については、専門資格を持っている人だけでなく、自身の趣味等の経験を活かして、その知識や技術を生徒に伝えていただく活動についても広く募集することで、気軽に指導者のエントリーをしてもらっており、様々なジャンルの登録につながっている。なお、指導者には年1回程度の研修会を実施し、コンプライアンス面での認識を深めてもらっている。

運営体制図

